

心を育む「わかたけタイム」

ながおか しりつおおこう づしょうがっこう 長岡市立大河津小学校

当校では「子ども同士の関わりを深め自主性や責任感を育てる」「互いのよさを認め合い、思いやりの気持ちや児童相互の望ましい人間関係を育成する」ことをねらいとして、わかたけ班（異学年縦割り班）活動の充実を図っています。

その中で、子どもたちが楽しみにしている活動の一つ「わかたけタイム」を紹介いたします。

「わかたけタイム」では、月に一回わかたけ班で昼休みに遊びます。遊びの内容は、その月の担当学年が考え進行も行います。「だるまさんがころんだ」「大縄跳び」「ドッジボール」「フルーツバスケット」「絵しりとり」など、みんなが楽しめる遊びを工夫します。

「いろいろな学年の友達と遊ぶのは楽しいです」「やり方を優しく教えてもらって嬉し

かったです」などの素敵な感想が毎回聞かれます。遊びの終わりには、楽しい遊びを考え進行してくれた児童に、みんなで「ありがとう」と心を込めてお礼を言います。言われた人は嬉しそうなお顔をしています。

この活動の積み重ねを通して、より一層子ども同士の関わりが深まり、思いやりの心や感謝の心が育っています。



ゲームを楽しむ児童

思いやりのこころ

ながおか しりつたち お みなみしょうがっこう 長岡市立栃尾南小学校

当校では、地域の高齢者との交流や縦割り班活動を通して思いやりのあふれる学校を目指しています。今年、コロナ禍のため、福祉体験活動を縮小もしくは変更して行いました。

<おおの苑へのプレゼント>

毎年、1・2年生はデイサービスセンターおおの苑を訪問し、地域に住む高齢者の皆さんと交流会を実施しています。今年、訪問が中止となり、子どもたちは高齢者の皆さんに喜んでもらうために、おおの苑を通して手紙のプレゼントを贈ることにしました。児童一人一人が心のこもったメッセージを書いておおの苑へ贈りました。

<縦割り班交流会>

毎年行っている縦割り班遠足を変更し、縦割り班交流会を二度行いました。1年生でも楽しくできる遊びや班全員が協力してで



縦割り班活動の様子

思いやりの心を育てよう

ながおか しりつたち お ひがししょうがっこう 長岡市立栃尾東小学校

当校では、異学年交流や地域の方とのかわりを通して、思いやりの心を育てる活動に取り組んでいます。

(1) あいさつ運動

杉の子委員会の子どもたちが主体となって、あいさつ運動に取り組めました。「自信をもって、相手に聞こえる声で、手をふってあいさつをしよう！」を今年のスローガンに、各学年で取り組む内容を考えて行いました。玄関前に立ち、あいさつで全校児童を迎えたり、各教室を回ってあいさつやクイズを出したり、学年ごとに工夫を凝らした活動を行っています。廊下ですれ違うときも手を振ってあいさつをする児童が増えてきています。

(2) 介護福祉施設との交流

今年度、3年生は介護福祉士から介護の話しを聞き、高齢者疑似体験に参加しました。



高齢者疑似体験に参加している様子

今年度の活動紹介

<地域貢献活動>

当校の特色的な活動に「地域貢献活動」

があります。生徒が「おぐにカンパニー」を主体的に組織して、年間9回程度、校内外で活動しています。全校生徒は「運営本部」「企画部」「活動部」のいずれかに所属し、活動します。その中で「活動部」は、福祉施設や保育園などからの様々な依頼等に応え、活動しています。今年度はマスクや熊鈴を制作したり、窓ふきや草むしりをしたりしました。活動は12年間続けられ、地域に根差しています。また、活動終了後に、地域の方々や事業所の方々、保護者、学区の児童を招き、活動報告や成果を発表しています。

<募金活動>

12月に赤い羽根共同募金を行いました。生徒会の環境福祉委員が3日間生徒玄関に

ながおか しりつ おくにちゅうがっこう 長岡市立小国中学校

立ち、募金を呼び掛けました。事前にポスターを作って掲示することで、生徒の意識も高まり、多くの募金を集めることができました。



募金活動の様子

今だから大切にしたい地域との交流

ながおか しりつほくしんちゅうがっこう 長岡市立北辰中学校

当校は例年、全校生徒が各地域のサロンや福祉施設を訪問し、地域の方々との交流する活動を行っています。多くの生徒はこの訪問を楽しみにしていました。

しかし、今年度はコロナ禍により、各施設への訪問が取りやめとなり、コロナ禍でも続けられる交流の在り方を生徒同士で話し合いました。その結果、生徒が書いた手紙を各地域施設に届けることにしたのです。

各地域に住み、普段から交流のある生徒や、昨年度にそのサロンや福祉施設でお世話になった生徒が中心となり、関係施設17ヶ所に手紙を書きました。日頃から地域の方々への感謝の気持ちや来年度こそ訪問できることを楽しみにしている思いなどを、それぞれがしたためました。17通の手紙は代表生徒が「ゆきわり荘」へ持参し、直接手渡すことができました。今できる精一杯の交流を

実現させることができ、生徒たちは充実感にあふれていました。後日、各地域の方からお礼の手紙が届きました。手紙を頂けるとは思っていなかったため、生徒たちはとても喜んでいました。今でもその手紙は校内に掲示されています。



手紙を手渡す代表生徒

地域へのボランティア活動の実践

けんりつながおかのうきょうこうとうがっこう 県立長岡農業高等学校

【宮内駅前花壇とバラ園の管理】

宮内駅前花壇とバラ園の管理は当校生活環境科、生活デザインコースの2年生と3年生の40人を中心に続けてきました。5つある花壇では生徒が思い思いの草花を植えて、駅を利用する人々の安らぎになるように工夫しています。バラ園には四季咲きのバラが多く植えられていて春から秋まで開花するように管理をしています。宮内駅は当校生徒の最寄り駅です。地域の方々も当校の取組を温かく見守っています。今後もこの活動を続け、地域のために役立てていきたいと思ひます。

【地域との演奏会交流】

今年度はコロナ禍により、例年行っていた長岡地域の保育園や特別養護老人ホームでの演奏が行えませんでした。吹奏楽コンクールも中止になり、校内で演奏機会も限られた

中で、音楽を通して地域の方々とながらつながっていきけるよう、部員一同日々の練習に励んでいます。

昨年度、宮内保育園に指揮者として訪問したときの園児の皆さんの元気な歌声と笑顔が印象に残っています。今は大きな声で歌うことが難しい状況ですが、共に打ち克ち、元気な歌声が聴けることを心待ちにしています。



校舎周辺のボランティア活動の様子